資格が活かせるのはどんな場面？

- **旅行関係**
  海外旅行の企画や国内外の旅行客への対応に活かせます。
  ⇒ツアーコンダクター、フライトアテンダントなど
- **国家公務員や地方公務員など公的機関**
  日本に在住する外国人に対応する時や国際交流、地域の文化の紹介の際に宗教文化の知識が求められます。
- **教育関係**
  世界史や日本史、地理、倫理などのほか、古典や現代文のなかにも宗教をテーマとした作品があります。英語の文章の読解にもキリスト教の知識が役立ちます。
  多様な宗教的背景をもった児童・生徒、保護者とのコミュニケーションの際に大事になります。
- **マスコミ関係**
  宗教関連のニュースは絶えず流れてきます。適切な理解があれば、不適切な報道を避けられます。
- **冠婚葬祭業**
  多様な宗教に対応した結婚式や葬儀が求められています。
  ⇒ブライダルプランナー、葬祭ディレクターなど
- **地域社会**
  自治会や PTA 活動において、外国人の宗教文化を理解しなければならない場面が増えています。
- その他、食品関連企業（ハラール市場）、ＩＴ関連企業、金融業や医療関係など、さまざまな分野で宗教文化の知識が求められています。

資格取得後も学び続けられます！

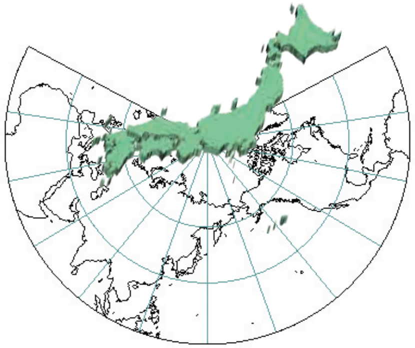
◆宗教文化士には毎月無料のニュースレターを送信します。宗教文化に関わる国内外のニュース、運営委員の教員によるエッセイ、上級宗教文化士取得者のレポート、お知らせなどを掲載しています。

◆「宗教文化士の集い」に参加できます。

◆センターで主催する、あるいは関連する講演会、シンポジウム等の情報をお知らせします。

◆協定を結んでいる博物館・資料館では、優待制度を利用することができます（宗教情報リサーチセンターの入会金免除など）。

◆資格は 5 年間有効です。その後更新のための手続きを経ることで上級宗教文化士の資格（終身）が得られます。



2011～25年度に宗教文化士を出した大学（Aコース）

愛知学院大学	聖心女子大学	東洋英和女学院大学
ウィーン大学	清泉女子大学	南山大学
大谷大学	相愛大学	日本大学
関西大学	創価大学	花園大学
関西学院大学	大正大学	一橋大学
九州大学	中央大学	フェリス女学院大学
京都大学	筑波大学	放送大学
慶應義塾大学	天理大学	北海道大学
恵泉女学園大学	東京大学	八洲学園大学
皇學館大学	東京外国語大学	立教大学
高野山大学	東京工業大学	立正大学
國學院大學	東京都立大学	立命館大学
国際基督教大学	同志社大学	龍谷大学
駒澤大学	東北大学	ルーテル学院大学
上海海洋大学	東北学院大学	早稲田大学
上智大学	東洋大学	

宗教文化教育推進センター

Center for Education in Religious Culture
（CERC：略称「サーク」）

〒 150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28
国学院大学AMC 5 階
電子メール　info@cerc.jp
ホームページ　https://www.cerc.jp/

AI時代にこそ求められる資格

宗教文化士

宗教文化の基本的知識と相手を考慮した対処法が、ますます重要になった時代

職場の同僚に外国人がいた場合、とりあえずどんなことに配慮したらいいだろう？

ハラールという言葉はよく聞くようになったけど、本当はどういう意味？では、コーシャは？

国際会議のときに、用意する食べ物で注意すべきことは何だろう？

外国人に宗教を聞かれて、「私は無宗教です」で話が終わっていいのだろうか？

カルト問題に適切に対処するには宗教リテラシーが必要！

目指していること

※教えや儀礼、神話を含む宗教文化の意味について理解ができる。

※キリスト教、イスラム、ヒンドゥー教、仏教、神道などの宗教伝統の基本的な事実について、一定の知識を得ることができる。

※現代人が直面する諸問題における宗教の役割について、公共の場で通用する見方ができる。

◆大学・大学院で単位取得が必要な科目の例（Aコース、Cコースの場合 ）

●「宗教学」「宗教社会学」「宗教人類学」「宗教民俗学」「比較宗教学」「比較神話」「新宗教論」「宗教思想」「宗教哲学」「宗教史」 などの科目

●キリスト教、仏教、イスラム、神道、道教、ユダヤ教、ヒンドゥー教など、日本や世界の諸宗教の歴史・現状や思想を扱った科目

●宗教と現代社会の関わりを扱った科目、宗教と文学、芸術、習俗、死生観などとの関わりを扱った科目

受験資格

A コース：単位履修コース
B コース：e-learning 履修コース
C コース：併用コース

◆Aコースに該当する人

・大学生（大学 2 年生（後期）〜卒業 2 年以内 ）
・大学院生（在籍中〜修了・退学 2 年以内）

※大学・ 大学院で履修した単位によって受験資格が取得できます。

※到達目標と対応する科目の単位を 12 単位取得し ていることが必要です。すでに 10 単位取得していれば、残りの単位を履修中の人も受験できます。大学院生は、学部で取得した単位を含めることができます。

◆Bコースに該当する人

・高等学校、高等専門学校等を卒業し、20歳以上の人

※所定の e-learning 教材（1科目1,000円）を 5 科目以上履修し、修了認定された場合に、受験資格が取得できます。

◆C コースに該当する人

Aコースと同様の教育歴だが、取得単位が4〜9単位の場合、e-learning 教材を未取得単位数に応じて履修することで、受験資格が取得できます。

認定試験

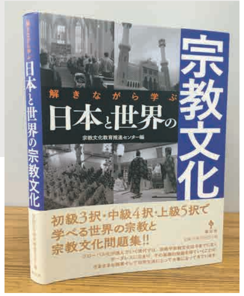
☆ オンライン試験
☆ 年 2 回実施（原則 6 月と11月）

試験の内容

①記号選択式問題が 50 問（60分）
②論述式問題が 1 問（50分）
＊過去問はホームページに公開されています。
＊練習問題（200問）の冊子や市販の公式問題集もあります。

◆公式問題集

宗教文化教育推進センター編
『解きながら学ぶ
　日本と世界の宗教文化』
（集広舎、2019 年）



認定にかかる費用

受験料 4,000 円
（再受験の場合は 3,000 円）
認定料 8,000 円

宗教文化教育推進センターの運営

＊「宗教文化士」の制度には次の２つの全国学会が連携しています。

・日本宗教学会
・「宗教と社会」学会

＊全国の40以上の国公立・私立の大学の教員が、運営委員や連携委員として関わっています。

詳しくは宗教文化教育推進センターのホームページ（QRコード）をご覧ください。